

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	122	1年	前期	看護学科	選択	生物学 Biology	30	1
担当教員								
山口 文徳								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	○ ③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	○ ④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療従事者として必要な医学的な専門知識を理解するための生命現象についての必要な知識を身につける。								
到達目標（授業目標）								
	① 細胞の構造と構成物質、栄養と代謝について説明できる。							
	② DNAと遺伝情報の発現について説明できる。							
	③ 細胞の増殖と死、生殖、発生、分化について説明できる。							
	④ 動物の組織と器官およびその働きについて説明できる。							
	⑤ 生体防御および生命システムの破綻について説明できる。							
	⑥ バイオテクノロジーについて説明できる。							
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	生物学の基礎について講義する。							
2回	細胞の構造について講義する。							
3回	生物を構成する物質について講義する。							
4回	栄養と代謝について講義する。							

5回	遺伝とDNA、遺伝情報の発現について講義する。								
6回	DNAテクノロジーについて講義する。								
7回	細胞の増殖と死について講義する。								
8回	生殖・発生・分化・再生について講義する。								
9回	動物の組織と器官および恒常性維持機構（1）：動物のボディプラン、結合組織、骨・軟骨、血球細胞について講義する。								
10回	動物の組織と器官および恒常性維持機構（2）：細胞内外の情報伝達、恒常性維持について講義する。								
11回	動物の組織と器官および恒常性維持機構（3）：体温調節、神経系の機能と生体機能調節について講義する。								
12回	動物の組織と器官および恒常性維持機構（4）：呼吸器系、泌尿器系、感覚器系の機能と生体機能調節について講義する。								
13回	生物時計、生物の生体防御について講義する。								
14回	ヒトの生体防御、がん化、老化について講義する。								
15回	バイオテクノロジー・バイオミメティクスについて講義する。								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし60点以上を合格とする。									
教科書	田村隆明 「医療・看護系のための生物学 改訂版」 （裳華房）								
参考図書等									
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
授業で使う参考資料は講義またはE-study等で配布するので、教科書と併用してください。									
関連科目									
前科目	119	基礎科学 A（生物							
後科目	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ	146	人体の構造・機能Ⅲ			
実務家教員									
医師（医療機関）	山口 文徳								
備考									